


4 名古屋国際工科専門職大学（中村区）

地域自主防犯活動活発化事業

実施結果報告書

1 団体名	名古屋国際工科専門職大学
2 事業名	コミュニケーションロボットによる若者世代の防犯意識向上 PR
3 事業実施 結果	<p>1. 学生による防犯意識向上 PR のためのプログラミング</p> <p>今回、若者世代の地域防犯参画事業を実施するにあたり、大学内にてプロジェクトへの参加希望者を募集し、情報工学科・デジタルエンタテインメント学科の1年生約20名が参加することになりました。</p> <p>企画は、AI コミュニケーションロボット Kebbi Air を使用して防犯意識向上のためのアナウンススクリプト・コンテンツ（クイズ）制作とし、PR イベント開催に向けた活動を行いました。</p> <p>Kebbi Air に触れたことのある学生が少ないため、教員が Kebbi Air の機能について理解を深めるレクチャーを学生たちに向けて実施。Kebbi Air を使ってできること、防犯 PR イベントで活用できそうな機能について確認をしました。</p> <p>一般の方に体験をしてもらうクイズのスクリプト（問題・回答）は学生が制作することにしました。「防犯」という難しいテーマですが、若者目線の発信内容と親しみやすいロボットを組み合わせることで、普段防犯についてあまり関心のない世代にも役に立つ情報を知ってもらう取り組みです。</p>  <p>↑ Kebbi Air についての理解を深める学生</p>

2. アナウンス用 Kebbi Air への装飾製作
 ロボットに興味を持ってもらうための工夫として、イベント時に持参する Kebbi Air には、学生が警察風の帽子を製作しました。

実際にイベントで使用した際には、本事業用のオリジナル、手作りという点で大変好評でした。

警察風の帽子をかぶった Kebbi Air→



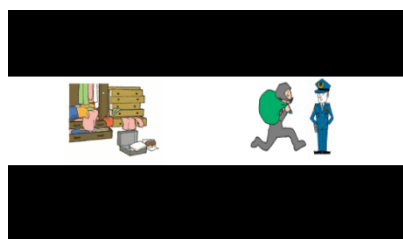
3. 「年末の安全なまちづくり県民活動」への参加

12月8日（金）に実施された「年末の安全なまちづくり県民運動」に参加をしました。サンシャインサカエ地下1階グランドキャニオン広場にて防犯を促進するアナウンスを実装した Kebbi Air による、歩行者に向けての呼びかけを行いました。

この運動にはプロジェクトメンバーの学生から5名が参加をし、街頭で Kebbi Air を持ち防犯を呼びかけました。Kebbi Air には防犯を推進する音声アナウンスを実装。音声アナウンスと合わせて、顔部分の液晶画面には防犯に関する画像資料を表示することで、視覚的にも防犯への意識を高める工夫をしました。



←画面に表示をした画像資料
 ※愛知県警本部で作成しているパンフレットやチラシから抜粋した画像を使用



イベントでは、Kebbi Air の音声アナウンスに興味を持ってくれた人が足を止めて、注目をしてくれるなど呼びかけの効果を実感することができました。ただ時間帯・場所の都合上、急いでいる人も多かったため、液晶画面での PR は難しく、音声での呼びかけの方が効果的だと感じました。



←↑実際の街頭アナウンスの様子

4. 愛知芸術文化センター オープンアトリエでの PR 活動

本学がパイロット事業に参加し、複数の企業と連携しながら様々な取り組みを実施しているアトリエ「Aichi Open Art Atelier(AOAA)」(愛知芸術文化センター内)にて Kebbi Air を使用した防犯意識向上促進のための PR 活動を実施しました。

アトリエスペースに Kebbi Air を設置し、呼びかけに興味を持ってくれた人に、Kebbi Air が出題するクイズを通して防犯について学べるプログラムを制作しました。

事前のイベント告知として、愛知県 HP 内の AOAA イベント情報ページへの掲載、大学公式・AOAA の SNS での発信、現地でのチラシ掲出を行いました。

↓事前告知用チラシ



↓ SNS での事前告知用画像



若者世代の防犯参画事業として、役立つ防犯知識を若者目線で発信するためにクイズの SCRIPT は学生が作成。また、当日会場には学生が制作したポスターを掲示し、イベントへの参加を呼びかけしました。



↑当日の様子（ポスター掲示）

クイズは子ども向けの普通クイズ、大人向けの難しいクイズを用意し、未就学児から大人まで全世代を対象に、クイズに挑戦してもらえるよう工夫をしました。回答形式は小さな子どもでも答えられるように「はいいいえ」（口頭もしくは画面タッチ）でプログラミングをしました。全4問出題し、クイズの最後には正解数に応じて、防犯意識レベルを星の数で表示するような仕様を用意しました。



←画像を使って問題を出題する様子

PR イベント当日は、案内スタッフとして学生6名が参加。アトリエスペースの入口付近に Kebbi Air を設置し、音声アナウンスでイベント実施の呼びかけをしました。

雨天、館内の工事等の要因が重なり、アトリエスペース周りの人通りが少なく、Kebbi Air に興味を持ち、防犯クイズに参加してくれる人は多くはありませんでした。

そんな中でも、用意したのは子ども向けの問題でしたが、コミュニケーションロボットに興味を持った大人の方々が、クイズを体験する様子が多く見られました。

イベントを3時間実施し、実際に体験をしてくれたのは15組程度です。中には、「この知識知らなかった!」「かわいいロボットで学べるのはいいですね」と楽しんで参加していただけた方もいました。

また、目新しいAIコミュニケーションロボットとのやりとりを新鮮に感じ、楽しんでいただけた様子もあり、防犯意識を高めるための情報発信方法として有効的だと感じました。



↑ 防犯クイズを体験する方々の様子



↑ イベントに参加した学生と教員

<p>4 成果と課題 及び今後の 取組み</p>	<p>(1) 事業実施の成果及び課題</p> <p>【成果】</p> <p>①親しみやすい見た目で見え目を引くロボットを使って防犯の知識、大切さを伝えることで、若年層含む幅広い年代の方々に防犯について考えてもらえるきっかけとなりました。また、あまり馴染みのないロボットとのコミュニケーションを実体験できたという経験は印象に残る防犯 PR となると感じました。</p> <p>②今回、防犯意識向上促進のためのコンテンツをクイズにすることで、楽しみながら防犯知識を身につけてもらうことができました。</p> <p>③プロジェクトに参加した学生自身も防犯について調べるきっかけとなり、知識を得ることにつながった。また、その知識をどう伝えれば興味を持ってもらえるかを考えることで、理解を深めることができました。</p> <p>④今回、有志の学生活動のため、授業・課題で忙しい中、全員集合しての活動時間の確保等は難しくなっていました。ただ、役割分担をし、各自作業を進めることで PR イベントを行うことができました。</p> <p>【課題】</p> <p>①クイズの難易度設定が難しく、複数の難易度（普通・難しい）を用意しましたが、役立つ知識を得られなかったと感じる人もいたように思います。子ども向けを想定していましたが、今回は大人が多く興味をもってくれる場面の方が多かったため、イベント場所に合わせたレベル・内容設定が必要だと感じました。</p> <p>②活動場所は人通りが少なく、もっと多くの方に体験してもらいたかったです。より多くの人に体験してもらうために、実施回数を増やす、もしくは人の集まりやすい場所・イベントで設置することが必要だと感じました。</p> <p>(2) 今後の取組み</p> <p>今回の活動を通して、Kebbi Air とやりとりをした会話ログは記録されているため、内容を分析し、アナウンスやクイズの内容、Kebbi Air の受け答えのバージョンアップをしていきます。</p> <p>今後 Kebbi Air を用いて学外のイベントへの参加がある際は、今回の防犯クイズをコンテンツの一つとしてアナウンス、体験いただけるように準備をしたいと思います。また、外部団体での本プログラムの利用を想定し、コンテンツの内容とマニュアル等の整備も実施していきます。</p>
----------------------------------	---